

■■受験対策ミニ講座 14号■■

季節はどんどん進んでいきますが、師走の冷たい風も心身への刺激のひとつと考えて、季節と共に前にすすんでいきましょう。風邪の予防に手洗いうがいとは基本中の基本。さらに症状がなくても人ごみではマスクをつける、野菜やミネラルの多い食品を意識して摂るなど、いつにも増して健康管理に気を配って、この年末を乗り切ってください。

今回の科目「社会保障」は多くの科目の基礎となる社会福祉の根幹です。社会保障制度は、生涯にわたるセーフティネットとして人が生きるための社会的な支えとしてつくられてきました。日本の社会保険は医療保険、介護保険、年金保険、雇用保険、労災保険の5つ。公的扶助とは生活保護のことです。まず、この仕組みを理解するところからスタートすれば、理解が進みます。

第14問「社会保障」

〔28回50〕日本の社会保険制度と公的扶助制度の基本的な特質に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- 1 公的扶助は防貧的な機能をもつ。
- 2 公的扶助は個別の必要に応じて給付を行う。
- 3 社会保険の給付は、実施機関の職権により開始される。
- 4 社会保険では原因のいかんを問わず、困窮の事実に基づいて給付が行われる。
- 5 公的扶助は、保険料の拠出を給付の前提としている。

■Plus Column . . . . .

【人に歴史あり】

就学猶予クレヨンポキポキ折りて泣きし 花田春兆 (はなだしゅんちょう)

かつてこの国には、「親が子どもを就学させる義務」を「猶予(ゆうよ)・免除する」という形をとって、子どもの教育を受ける権利を奪う制度がありました。...学校へ入るために買ってもらったクレヨンをポキポキ折って泣いた...身体に障害があるために「就学猶予・免除制度」が適用され、学校に行けなかった子どもの悔しさが詠み込まれたこの句は、養護学校の設立を求める運動の中でくり返し紹介されました。

作者は大正末期の生まれなので、この句の舞台となった時代は昭和の初期ということになります。養護学校(現・特別支援学校)が義務教育とされたのは昭和54年のことですから、この時から実に50年近い年月が流れていることとなります。

昭和7年には「肢体不自由児の父」と呼ばれた小児科医・高木憲次氏らの尽力により、東京に日本初の肢体不自由児のための“光明(こうめい)学校”が「各種学校」として認可・設立されました。作者は二年の“就学猶予”の後、ここに入学することができ、乳母車(今でいうベビーカーのようなもの)に乗せられて通学したそうです。戦中、戦後を生き抜き、90歳を越える現在も俳人・作家・社会運動家として執筆活動を続けている作者が、電動車椅子を手に入れたのは40歳の時。その時の喜びを次の句に詠んでいます。

生きるべし炎天を航(ゆ)く車椅子

一人の身体障害者の人生を見ても、平坦な道のりではなかったとはいえ、日本の社会保障・社会福祉は確実に発展してきていることが実感されます。それを次世代にどのように引き継いでいくか...社会福祉士を目指している皆さんに期待されていることは限りなく大きいと言えます。

〔28回50〕の正解と解説

「社会保険」とは、疾病、死亡、老齢、失業などによる困窮を救済するために、政府など公的部門が基準を定めて給付を行うもので、国や公的な団体が保険者となり、被保険者は法律に基づく強制加入が原則となります。「公的扶助」は保険料の負担をせずに、国又は地方公共団体がすべて公費により、生活困窮の状態にある者に対し、資力と所得の調査(ミーンズ・テスト)をした上で行う公的な救済、すなわち生活保護のことです。

「日本の社会保険制度と公的扶助制度の基本的な特質」に関して正しいのは2。

1×

公的扶助は防貧的な機能をもつ。

日本の公的扶助の機能は救貧機能です。

2○

公的扶助は個別の必要に応じて給付を行う。

生活保護法9条「必要即応の原則」に明記されています。

3×

社会保険の給付は、実施機関の職権により開始される。

社会保険給付は職権で開始されることはありません。

4×

社会保険では原因のいかんを問わず、困窮の事実に基づいて給付が行われる。

「原因のいかんを問わず困窮の事実にもとづいて給付が行われる」のは、公的扶助である生活保護法2条「無差別

平等の原理」による給付です。

5×

公的扶助は、保険料の拠出を給付の前提としている。

日本の公的扶助は拠出を前提としていません。

---

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=2412](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2412)